

# 新潟県議会議員 横尾ゆきひで



VOL. 22 2014年1月19日発行  
横尾ゆきひで事務所  
事務所：妙高市朝日町1-7-23  
電話 0255(70)5211 FAX 0255(70)5212



## 県議会だより

新しい年を迎え、皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年の夏は記録すくめの異常気象で、各地では甚大な被害が出てしまいました。当妙高市でも、9月16日台風18号による異常豪雨で、栗原町内の矢代川堤防が決壊して、大勢の町内の方々が新井北小学校体育館に避難され、不安な一夜を過ごされました。

県並びに市の迅速な対応で、被害拡大を防げたことに心より感謝しています。災害は、時と場所を選びません。「備えあれば憂いなし！」地域で防災意識の再点検をしようではありませんか。

朗報もありました。昨年12月2日未明、北陸新幹線「上越妙高駅」に、試験車両「イーストアイ」が初お目見えしました。待ち望んだ新幹線が現実のものとなった瞬間でした。加えて、上信越自動車道4車線化とともに、本格的な高速交通時代を迎えた上越地域です。

これを機に、妙高市にあります温泉や自然、食や歴史文化などを活かして、大勢の人たちとの交流拡大に繋がれば、必ずや地域発展が実現すると確信しています。

また、先の臨時国会では、決められる政治を取り戻しましたが、一部において国民世論を軽視するような対応がありました。残念ですが、国民の政治不信解消のため丁寧な説明が不可欠だと思います。特に歴史的にも文化的にも、関係の深い対岸諸国との政治的緊張が緊迫度を増しています。国際的にみても、力でなく対話で国益を守るよう切に望むところです。

さて、昨年の県議会9月定例会報告の「議会だより」が諸々の都合で発行できませんでしたので、今回は9月定例会の一部も含め、12月定例会での審議結果を報告します。

先の9月定例会では、25年度一般会計補正予算総額260億3,833万3千円の増額補正など32議案が可決されました。

予算の主な内容は、昨年夏の異常豪雨で被災した個所の早期復旧、越後杉を活用した住宅建設支援、消防防災ヘリ更新、農業用水利施設の耐震性の点検調査費用等です。

議会の争点になったのは、東京電力柏崎・刈羽原発問題です。「規制基準への適合審査申請」に対し、知事は定例会直前に「条件付き受け入れ」を表明しました。これまでの知事の対応についての翻意を質しました。また、8月～9月にかけて県議団などがチェリノブイリを視察したのに関連して、我が国並びに当県の原発施設に関わる放射能汚染の重大性、危険性、対策などや再稼働と地域経済の考え方について質問が集中しました。その他、TPP問題、人口減少問題、地域医療体制確立問題、水俣病問題、自殺予防対策、地方分権、北朝鮮拉致問題、新年度予算編成などについて議論されました。

産業経済委員会では、新潟県とJA全農新潟が新潟米PRのため、50歳代～70歳代の農家の主婦7名で結成した「新潟ライスガールズ」の、プロモーションビデオでオリジナル曲『米色の片想い』が東京都内で大評判を呼んでいて、新潟産コシヒカリの需要拡大に一役買っているとの朗報がありました。インターネット「YouTube」で是非ともお聴き下さい。とてもテンポの良い楽しい歌です。



次に、12月定例会報告です。泉田知事は冒頭、「経済の現状として中小企業や小規模事業者の多い地方では、景気回復の効果が未だ十分及んでいない中で、平成26年4月より実施される消費税増税後の景気の先行きに不安が残る。」との見識を示されました。

特に県政の最大課題ともいえるべき、県内人口の減少問題や医師不足問題などに、多様な事業を取り入れて全力で取り組んでいくことを提案説明されました。

平成25年度補正予算では、台風18号による被害からの早期復旧に必要な経費や、現下の経済・雇用情勢を踏まえた重要かつ緊急的な事業、職員給与にかかる過不足など、総額62億5,635万7千円について審議されました。

質疑の中で、最も多くの議員が「国の経済対策に対する本県経済への影響と消費税増税前の駆け込み需要後の問題など。」また「再生エネルギーの普及促進と原発事故処理、再稼働問題など。」また「人口減少に対する検討経過と対応など。」また「5年後の減反廃止による農政の改革とTPP問題など。」また「魚沼基幹病院や県央基幹病院などと医師・看護師不足問題など。」また「北陸新幹線開業と地域振興問題など。」について質問していました。なお、代表質問や一般質問の詳細は、議会HPを参照ください。

新年早々から寒い日が続いていますが、皆様には、くれぐれも健康にご留意されますよう、ご祈念申し上げまして県議会報告とさせていただきます。

### 新潟県議会 12月定例会より 【会期：12月4日～12月20日】(17日間)

#### 審議の結果

詳細は、新潟県議会「新潟県：平成25年12月定例会議決結果」をご覧ください。

#### <提案された議案>

- 今定例会提案 23件
  - ・平成25年度予算関連 7件 可決
  - ・条例の一部改正 8件 可決
  - ・その他 8件 可決
- 継続中のもの 9件
  - ・平成24年度決算 5件 認定
  - 4件 可決

#### <議員発議による意見書>

- 意見書 13件の内、8件可決 5件否決

#### <請願>

- 今定例会提出 6件の内、5件継続 1件撤回承認
- 継続中のもの 7件の内、4件継続 3件撤回承認

#### <陳情>

- 今定例会提出 4件の内、4件不採択
- 継続中のもの 8件の内、7件継続 1件撤回承認

◆9月定例会 産業経済委員会から

産業労働観光部

- (質問) 全国並びに本県の経済動向は、緩やかに回復または回復しつつあるとしているが、本県企業の現状とピーク時との比較は。
- (回答) 全産業の中ではマイナス7で、この先少し改善の見込み。製造業は若干伸びている。非製造業はやや厳しい。県全体でもやや厳しい。
- (質問) 最近の雇用状況をみると、新規求人が伸びているが新規求職者が伸び悩んでいるのはなぜか。
- (回答) 景気が反映しているものであり、充足度が高まってきていて、よりよい仕事を探す傾向となっているが、今後の傾向は読めない。
- (質問) 新卒者の求人も増えている。ここにきて好転しているが氷河期がなくなったのか。反面、リストラなどの再雇用は厳しいと聞くが。
- (回答) 学卒の求人状況は昨年より増えている。就職説明会などでは首都圏が早く決まり地方は厳しい。再雇用のデータはないが、年齢が上がれば少し厳しい状況である。
- (質問) ものづくり日本を考えると技術の伝承など多方面で支障が出てくる。次世代を考えると安定して職場の基で、家庭や地域貢献できる雇用形態は重要。非正規雇用の改善を行政の立場で国に働きかけては。
- (回答) 本県の非正規雇用率は平成24年度34.1%と全国より4ポイント低い。働く者の選択も大切。現在、国では労働制度見直し中であり見守り、対応したい。
- (質問) 新規求人では、宿泊業・飲食サービス業が減少している。県観光振興の行動計画では、外国人の宿泊数を4年後に現在の倍に伸ばすとしているが何か策は。受け入れの観光地では相当な意識改革も必要と思うが対策は。
- (回答) 最近の観光動向をみると、個人宿泊が多い。団体での宴会などは減少している。今後は、受け入れ側の施設改善や意識改革などを行い、交流人口増加に努めたい。
- (質問) 店舗内に植物工場を設置する事業を展開中だが、清潔で新鮮、安心安全な食べ物が手に入ることは非常にいいことであり将来性があると思うが。
- (回答) 植物工場ビジネスの県外事例などの紹介を兼ねたセミナーは毎回盛況である。店舗内に小型の施設導入希望には補助金を出している。大型はコストなど問題もあり今後も課題。
- (質問) 農業の経営体を充実する一つの方法として、施設園芸に取り入れる可能性はあるか。
- (回答) 初期コストやエネルギーなど技術的な問題など、検討する課題も多いので引き続き検討していきたい。

農林水産部

- (質問) 高齢者の多い中山間地では、農作物の鳥獣被害が深刻だが、種別の被害状況は。
- (回答) 全般的には、年々被害が減少している。平成24年度では約2億7千万円の被害。うち64%がカラスなど鳥類で残りは猿など。
- (質問) 年々減少しているとは信じられない。地域の大半が高齢者で、既に被害の多いトウモロコシやスイカなどは栽培していない。最近は、キュウリ、ナス、トマト類まで収穫前に被害にあう。被害状況は市町村からの報告に基づくものか。
- (回答) 市町村からのデータである。県では、平成20年から鳥獣防止対策を国の交付金で対応してきた効果だと思う。
- (質問) 私自身が日本カモシカや猿の集団を見ている。間違いなく年々増えていると思う。高齢者は子供や孫のために生きがいとしているのが大半。防護さくや耕作放棄地の刈り払いなどは、地域ぐるみで支援する必要があるのでは。
- (回答) 中山間地での対策はなかなか効果が上がらない。地域ぐるみの支援が大切であり、市町村など関係者と連携していく。
- (質問) 本県のグリーンツーリズムの取り組み状況は。
- (回答) 直近5年間の実績は、中山間地への学童などの体験活動参加者は、約5万7千泊増えて、年間約20万2千泊。県内各地で主に学校単位での参加が多い。
- (質問) 農家民宿の利点と欠点は。問題はないか。
- (回答) 受け入れ農家の高齢化が問題。民宿は大勢の受け入れ可能で対応に違いがある。
- (質問) 所期の目的は農村の素朴が売りだったが、子供を対象にすると食事面で大変と聞く。刺身や肉類が欠かせないなど受け入れ側に戸惑いもあると聞くが。
- (回答) 農村の素朴な部分ばかりでは対応は不十分。子供達にはハンバーグなどはやむを得ない。今後も、関係者と研修しながら改善していく。
- (質問) 防災グリーンツーリズムの現状は。
- (回答) 県では、防災局と連携しながら推進している。首都圏市町村を訪問して新たに埼玉県や群馬県など5市町村から同意をいただいた。11月には小千谷市で交流会を開催予定している。

その他、農地部に対しては、台風18号の県内被害状況、矢代川堤防決壊での今後の対応策、基幹農業用水施設等の老朽化対策、農業従事者の高齢化、後継者不足及び不在地主に対する県の対策などについて質問しました。

◆12月定例会 産業経済委員会から

産業労働観光部

- (質問) 本年末には外国人旅行者が1,000万人を超えるとのこと。そのうち本県には、どの程度の外国人旅行者が来ているのか。
- (回答) 県内への外国人宿泊数は7万951泊で、全国第26位。主に、中国、台湾、韓国が毎年上位。その他は、スキー場などにオーストラリアやロシアから来ている。
- (質問) 外国人旅行者の訪日目的は何か。自然や食か。また、在日外国人が問題視している一つに、言葉の弊害を指摘しているが対策は。
- (回答) 全国的なトレンドでは、温泉や和食、歴史文化、ショッピングなどが上位。経済効果としては、2011年の試算では1人1回あたり、平均11万4,000円。国内旅行者では、宿泊の場合1人1回あたり4万7,000円で消費額に差がある。外国人旅行者が望むものとして、言葉もあるが無線LANやWi-Fiの環境整備の要求が高いので整備に取り組んでいく。
- (質問) 12月2日未明に、北陸新幹線「上越妙高駅」に新幹線試験車両「イーストアイ」が初乗りした。地元の期待も高まってきている中で、民間同士で開業イベントを計画しているが、県独自のイベントはあるのか。また、民間イベント支援は。
- (回答) 現在、関西方面からの誘客活動を展開中。観光物産展やエージェントなどへのPRも行っている。来年度はJRと連携しディスネーションキャンペーンも実施する計画であり、切れ目なくやっていきたい。民間の動向は承知していないので調査してみる。
- (質問) 今定例会で、大手企業の撤退と工場売却に関する一般質問があった。自分の市の出来事なので質問するが、この情報をいつ県が知ったか。
- (回答) 会社からは正式なコメントはなかった。
- (質問) この情報に誘致の際に協力してくれた地元も大変ショックを受けている。雇用の不安や地域経済への不安は計り知れない。県として問題解決の全力で取り組んでほしいが。
- (回答) いろんな側面があると思うができるだけ対応していく。

農林水産部

- (質問) 40年以上続いた減反の廃止など農業政策の大幅な改革に対し、実施には多くの問題が生じると思う。中でも、農地中間管理機構では農地集積や水田フル活用のため、耕作放棄地対策強化に所有者死亡の農地も含まれるとしているが簡単にできるのか。
- (回答) 死亡時に権利関係者が農業委員会と相談しますが、受けてのない場合は農地中間管理機構が相談に新たに加わる仕組み。
- (質問) 所有権の問題は考えなくていいことか。
- (回答) 貸し借りの問題である。
- (質問) スキームでは、基盤整備費用は管理機構が負担するとしているが、中山間地の耕作放棄地も対象か。
- (回答) 受け手が確実に見つかることが前提ですべてではない。利用状況の改善策として機構が行うもの。
- (質問) 主食用米から飼料用米や米粉用米に生産拡大していくと、現在、飼料用の大半が輸入であり、TPPなどで問題にならないか。また、需要と供給のバランスは。
- (回答) 飼料用米が、一気に供給拡大することはない。輸入との問題も起きない。
- (質問) 畜産農家が安い飼料が手に入れば、規模拡大で安定経営が可能となるが。
- (回答) 現状の畜産農家は、高齢化などで減少傾向にある。飼料など生産経費が安くなれば規模拡大や投資意欲にもつながると思うので、県としても支援していきたい。
- (質問) 第65回全国植樹祭が行われる。県庁前にカウントダウンの掲示板があり楽しみにしているが、県内各地での啓発活動は。また、これを機に県民の森づくりに力を入れてほしいが。
- (回答) すでにプレイベントを行っている。上越地域を含む各地で緑化イベントを開催してきた。さらに、県のフェイスブックやホームページ、広報紙などで周知している。また、県民の皆さんには森づくりへの参加やボランティア活動などへの参加、企業や学校の子供たちへの参加も行っていき、植樹祭終了後も続けていきたい。



「横尾ゆきひでホームページ」では、「議会～地元イベント」まで、私の活動の様子を感想を含め掲載しています。是非ご覧になって皆様の意見をお寄せください。お待ちしております。



【活動報告カテゴリ】

- ・委員会活動
- ・議会報告
- ・地区行事
- ・地区検分
- ・地区いろいろ情報
- ・いろいろ
- ・議員活動
- ・矢代川の桜
- ・後援会ニュース
- ・委員会報告
- ・無所属議員勉強会有志の会